

子曰はく、故きを温めて  
新しきを知れば、  
以て師たるべし。と。

現代語訳

先生がおっしゃるには、「先人の述べた学、いわゆる過去の歴史や学説の持つ意味を学び、究めて、そこから現在にふさわしい意義が発見できるようにすれば、人の師となる資格があるのだ。」と。

私の考え（体験談をもとに）

・僕はこの事についても共感します。道德の授業の時に、澄川喜一さんについての話がありました。澄川喜一さんは東京スカイツリーのデザイン監修をされた方ですが、参考にされたのは、1300年以上も前に建てられた法隆寺の五重塔でした。五重塔は地震に強く、東京スカイツリーの耐震に五重塔の「制震」という仕組みが採用されたそうです。このことから古い建物の構造をしっかりと研究し学ぶことで、新しい建物に役立て、さらに技術の進んだ建築をすることが出来る

と思いました。